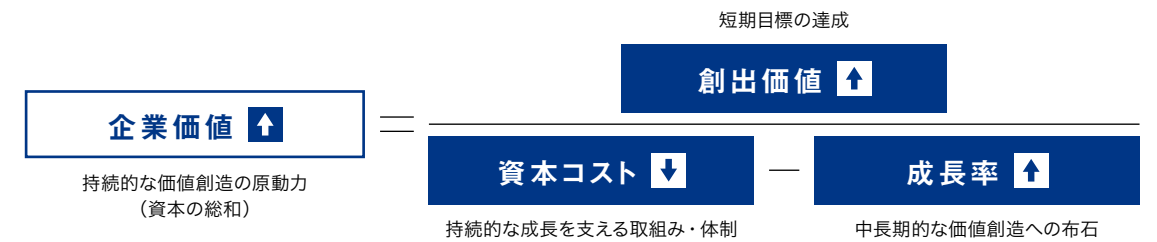


「三方よし」を中心に据えた価値創造モデル

ビジネスモデルの解説

企業価値の向上を図るには、経済価値と環境・社会価値の「何れも」拡大していく必要があります。具体的には、「創出価値の拡大」（短期目標の達成）及び「成長率の向上」（中長期的な価値創造への布石）を志向し、「資本コストの低減」（持続的な成長を支える取組み・体制）を図ることで、持続的な価値創造の原動力である「資本の増強」という好循環を実現していきます。



商いの基本

- 「稼ぐ」**
世の中の変化や顧客のニーズ等に合わせ「商い」を工夫しています。
- 「削る」**
費用対効果に合わない経費、無駄な会議や書類等を削減しています。
- 「防ぐ」**
貸倒損失や減損損失等の水漏れを防止しています。

普遍的な手段

- 付加価値の創出**
コーディネーション、事業経営の高度化、シナジーの創出といった総合社特有の機能を駆使し、顧客視点での付加価値を継続的に創造し、商権の安定化やトレードの拡大、投資先を含むビジネス全体の価値向上に努めています。
- 資産戦略**
事業投資の戦略的な重要性が高まる中、当社が強みを持つ領域への投資を重視する一方で、リスク管理の徹底や資産効率の追求を伴う資産戦略を構築し、着実な実行を図っています。

マテリアリティ

- 技術革新による商いの進化
- 気候変動への取組み (脱炭素社会への寄与)
- 働きがいのある職場環境の整備
- 人権の尊重・配慮
- 健康で豊かな生活への貢献
- 安定的な調達・供給
- 確固たるガバナンス体制の堅持